

2017年度

大分大学大学院経済学研究科  
博士前期課程

学生募集要項

外国人留学生入試-指定校推薦  
秋季入学(2017年10月入学)  
(第2次)

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 出願期間  | 2017年3月8日(水)～3月14日(火) |
| 面接期日  | 2017年3月28日(火)         |
| 合格者発表 | 2017年4月5日(水)          |

2017年2月





# 目 次

ページ

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| ○大分大学大学院経済学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー    | 1 |
| ○大分大学大学院経済学研究科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）   | 2 |
| ○外国人留学生入試-指定校推薦秋季入学（2017年10月入学）募集要項 |   |
| 1 募集人員                              | 3 |
| 2 出願資格                              | 3 |
| 3 出願手続                              | 3 |
| 4 出願書類等                             | 3 |
| 5 障がいのある者等の事前相談                     | 5 |
| 6 選抜方法                              | 5 |
| 7 面接の期日及び会場                         | 5 |
| 8 合格者発表                             | 5 |
| 9 入学手続                              | 5 |
| 10 入学料及び授業料                         | 5 |
| 11 注意事項                             | 5 |
| 12 問い合わせ先                           | 5 |
| ○研究科の授業科目                           | 6 |
| ○出願様式等                              |   |
| 入学志願書                               |   |
| 受験票（外国人留学生入試-指定校推薦）                 |   |
| 受験票（大学控）                            |   |
| 入学検定料払込証明書（大学提出用）貼付欄                |   |
| 研究計画書                               |   |
| 推薦書                                 |   |
| 払込取扱票                               |   |

# 大分大学大学院経済学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

## I. 基本理念

現代の経済社会は、情報技術の進歩などにより急速なグローバル化が進展する一方で、私たちが生活するそれぞれの地域においても、その資源の活用や将来へ向けた戦略の重要性が高まっています。そのため、グローバルからナショナル、さらにはローカルに至る様々なスケールにおける経済社会の諸問題を的確に理解し、分析し、解決する能力を有した高度で専門的な人材の必要性がより一層強まっています。

本研究科は、こうした経済社会の変化を受けて、鋭い分析能力と専門的な知識を有し多様な経済社会のリーダーとなりうる高度職業人を養成し、送り出すことを目的とします。

## II. 教育・研究の目標

旧来の枠組みにとらわれない高度な理論的・学際的アプローチと実務に直結する応用的・政策的アプローチを通じて、現代経済社会の諸問題に対処しうる判断力と問題解決能力の涵養を図っていきます。

### 〈経済社会政策専攻〉

経済政策や社会政策の理論と歴史に関する総合的アプローチを基礎とする教育・研究を行っていきます。

### 〈地域経営政策専攻〉

地域経済分析や企業経営に必要な様々な情報に関する実践的アプローチを基礎とする教育・研究を行っていきます。

## III. 求める学生像

### 〈経済社会政策専攻〉

経済・社会政策や国際経済などの現代的な課題について、総合的な知識を身につけたい人や専門的な知識を持った高度専門職業人をめざす人あるいは国際的な舞台で活躍することを志す人

### 〈地域経営政策専攻〉

地域経済政策、企業経営、会計情報などの現代的な課題について、実務的な知識を身につけたい人や専門的な知識を持った高度専門職業人をめざす人あるいは地域社会の活性化のリーダーを志す人

## IV. 入学者選抜の基本方針

総合的で高度な知識の習得を目的としているため、それぞれの専攻分野ごとに固有で確実な素養や学力を求めます。社会人のリカレント教育意識の高まりに応えるとともに地域社会との連携の強化を図っていくため、本研究科では社会人学生を積極的に受け入れます。こうした社会人の志願者については、社会人としての経験に基づく基礎的知識と柔軟な発想に加え、明確な目的意識と論理的な思考力を求めます。

## 大分大学大学院経済学研究科 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大分大学大学院経済学研究科は、社会科学に関する高度な専門的知識を修得し、経済社会に係る諸課題を発見、分析および解決できる能力を有する人材を養成することを目的としている。この目的を踏まえ、本研究科では博士前期課程および博士後期課程を通じて必要な単位数を修得し、学位論文等の審査および最終試験に合格したもので、以下の資質や能力を修得した学生に学位を授与する。

### 博士前期課程 修士（経済学）または修士（経営学）

1. グローバルからナショナル、さらにはローカルに至る様々なスケールにおける経済社会の諸課題を的確に理解するうえで、高度専門的職業人に必要な社会科学の専門的知識を有する。
2. 現代の経済社会が抱える諸課題を解決するために、必要な情報を収集し、それらを理論と実証の両面から適切に分析できる実践的能力を有する。
3. 理論的アプローチと実務に直結する応用的アプローチを通じて、現代の経済社会、とりわけ地域の抱える様々な課題に対処し、解決できる能力を有する。

### 博士後期課程 博士（経済学）

1. 高度な専門的研究の土台となる理論や学説を幅広くかつ体系的に修得し、自立した研究活動を行う能力を有する。
2. 自らが設定した経済社会に係る課題について、課題解決に必要な情報を収集し、それらを適切に分析できる高度な専門的能力を有する。
3. 地域の経済社会や企業経営が抱える課題について、高度な専門的研究から適切にアプローチし、リーダーシップと創造性をもって、課題解決に資する方法や政策を提示する実践的能力を有する。

# 外国人留学生入試-指定校推薦

## 秋季入学(2017年10月入学) 募集要項

この入学者選抜制度は、本学の指定する中国の大学の卒業生（卒業見込み者を含む）を対象として、入学試験のために来日することなしに、書類選考及び現地での面接を通じて合格者を決定するものです。本選抜により合格した者は、2017年10月に本学大学院経済学研究科に入学することになります。

### 1 募集人員

経済社会政策専攻 若干名  
地域経営政策専攻 若干名

### 2 出願資格

日本国籍を有しない者であって、次の(1)から(3)を全て満たしていること。

- (1) 本学の指定する大学を2016年6月以降に卒業した者及び2017年8月までに卒業見込みの者
- (2) 本学の指定する大学の指導教員が責任をもって推薦できる者
- (3) 日本語能力試験N1を取得済みの者

### 3 出願手続

- (1) 出願期間 2017年3月8日(水) から3月14日(火) 17時まで(必着)

**出願は郵送のみ**とします。その際は必ず、本要項に添付されている封筒を用い、**速達書留**で郵送してください。

出願書類を日本国外から送付する場合、「EMS」または「Fedex」等の郵送状態が確認(追跡)できる方法で送付してください。

ただし、郵送が間に合わない場合は、3月14日(火)に限り持参を認めます。

(受付時間は、9時から17時まで)

- (2) 提出先

〒870-1192 日本国大分県大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課

Entrance Examination Division, OITA UNIVERSITY, 700 DANNOHARU, OITA 870-1192, JAPAN

### 4 出願書類等

| 区 分                        | 備 考   |
|----------------------------|---|
| 入 学 志 願 書                  | 本学所定の用紙により、すべて日本語で記入してください。写真は上半身、脱帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。※志願者には、E-mail(日本語)で連絡をする場合があるので、必ず連絡の取れるE-mailアドレスを記入してください。(出願書類提出後面接期日までの間は、E-mailを必ず定期的に確認するようにしてください。) |
| 受 験 票                      | 本学所定の用紙により、すべて日本語で記入してください。写真は上半身、脱帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。   |
| 成 績 証 明 書                  | 最終出身学校長又は学部長発行のもので、日本語での翻訳文を必ず添付してください。   |
| 卒業(修了)証明書又は<br>卒業(修了)見込証明書 |   |
| 研 究 計 画 書                  | 本学所定の用紙に主に研究したいテーマについて日本語 2,000 字程度で作成してください。   |
| 推 薦 書                      | 本学所定の用紙   |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 日本語能力の証明書               | 日本語能力試験 N1 の成績証明書   |
| 入学検定料払込証明書<br>(30,000円) | <p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>A. 日本国外から検定料を振込む場合<br/> <b>※手数料は本人負担です。</b><br/> 1. <b>「CHG SENDER (払込人負担)」で送金</b><br/> 又は<br/> <b>「□ 款人 OUR」で送金</b><br/> <b>※中国銀行から振込む場合</b><br/> 振込時、「境外□ 款申□ □」の中の「71A 国内外費用負担」欄は「□ 款人 OUR」にチェックしてください。</p> <p><b>2. 送金額：『検定料 30,000 円』 + 『円為替手数料 1,500 円』 + ※【別途手数料】</b><br/> <b>3. ※【別途手数料】は、現地振込銀行に確認してください。</b></p> <p>4. 下記の要領に従って外国送金してください。<br/> ① 送金種類：電信送金 (Telegraphic Transfer)<br/> ② 支払方法：通知払 (Advise and Pay)<br/> ③ 送金目的：検定料 (Application Fee)<br/> ④ 送金先<br/> ・銀行名：大分銀行 (THE OITA BANK, LTD.) Bank code No.0183<br/> ・支店名：しきど支店(SHIKIDO BRANCH) Branch code No.069<br/> ・口座番号：普通預金 5261880 (A/C No. 5261880)<br/> ・受取人：国立大学法人大分大学学長 北野 正剛<br/> (Oita University President Kitano Seigo)<br/> ・銀行住所：〒870-1121 大分市大字駕野 862- 2<br/> (862-2 Oshino Oita-shi 870-1121 JAPAN)<br/> ・スイフトコード：OITAJPJT<br/> ・大分大学住所：700 Dannoharu Oita-shi 870-1192 JAPAN</p> <p>5. 送金の際、送金人 (Remitter) が出願者本人でない場合は、連絡事項 (Message) に出願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>6. 送金の際、連絡事項 (Message) に以下を記入してください。<br/> 「B1」</p> <p>7. 振込み後は、「外国送金依頼書」の写しを受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。</p> <p>B. 日本国内から検定料を振込む場合<br/> <b>※手数料は本人負担です。</b><br/> <b>金融機関 (郵便局を含む) でのお支払い</b><br/> <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。</b><br/> お支払い後は、「振替払込受付証明書 (大学提出用)」を、受験票の貼付欄に貼ってください。<br/> <b>※納入した検定料は返還できません。</b></p> |
| 受験票返送用<br>E M S 伝票等     | <p>郵送による出願の場合のみ提出してください。</p> <p>① 送付先が日本国外の場合は、EMS の伝票に住所、氏名等を記入してください。</p> <p>② 送付先が日本国内の場合は、本学所定の封筒に住所、氏名を記入し、362 円分の切手を貼ってください。</p>  |
| 合格通知用<br>E M S 伝票等      | <p>① 送付先が日本国外の場合は、EMS の伝票に住所、氏名等を記入してください。</p> <p>② 送付先が日本国内の場合は、本学所定の封筒に住所、氏名を記入してください。</p>  |

※上記の書類はすべて原本 (ORIGINAL) とし、複写 (COPY) は無効とします。(ただし、日本語能力の証明書は複写 (COPY) で可)

## 5 障がいのある者等の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、2016年11月24日までに、下記の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書（日本語での翻訳文を必ず添付すること）を添え、本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・面接の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

## 6 選抜方法

選考は、提出された書類及び面接の結果を総合して行います。

（なお、希望する指導教員は研究計画等を勘案して変更することがあります。）

## 7 面接の期日及び会場

選考にあたり、志願者に対して、中国の北京市で研究計画等に関する面接を、下記の日時で行います。当日は15時30分までに面接会場へ集合してください。

日 時 2017年3月28日（火） 15時45分～  
面接会場 ジンルンホテル（京倫飯店）  
住 所 北京市朝陽区建国門外大街3号

## 8 合格者発表

合格者は、下記の日時に本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に合格者受験番号を掲載するとともにこの日以降に郵送で本人に通知します。なお、電話による可否の照会には応じません。

日 時 2017年4月5日 午前10時

## 9 入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続に必要な案内を送付します。

## 10 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

（1）入学料については徴収猶予の制度が、授業料については免除・徴収猶予の制度があり、申請手続は入学料・授業料の納付前に行う必要があります。

詳細については学生支援課奨学支援グループ（TEL：+81-(0)97-554-7386）へお問い合わせください。

（2）入学料、授業料は、改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

（3）納付した入学料は返還できません。

## 11 注意事項

（1）入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として利用します。

（2）出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

（3）記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

## 12 問い合わせ先

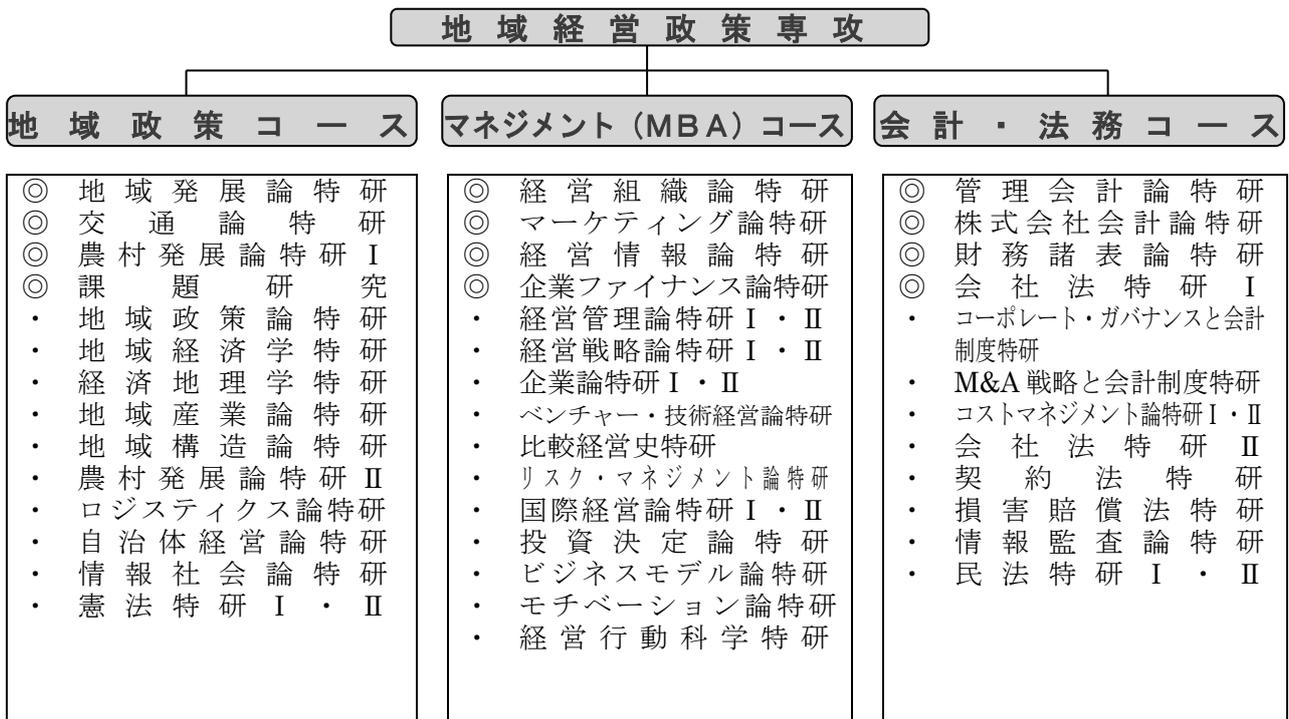
大分大学学生支援部入試課

TEL：+81-(0)97-554-7016 FAX：+81-(0)97-554-7472

E-mail：nyucenter@oita-u.ac.jp

**研究科の授業科目**

(1) 研究科の開設授業科目は次のとおりです。



◎はコア科目

共通科目：国際コミュニケーション特研，日本の経済と経営

(2) 演習

担当教員及び演習の内容は次表のとおりです。

## 経 済 社 会 政 策 専 攻

《国際経済コース》

| 演 習 名                                 | 担当教員職・氏名         | 演 習 の 内 容   |
|---------------------------------------|------------------|---|
| 国 際 経 済 学 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 准教授<br>柴田 茂紀     | 国際経済学を基礎にしながら、グローバル経済の現実を分析する手法を学びます。主な研究対象は、国際経済システムの変遷や、世界経済の現状分析、各国経済の比較分析になります。国際経済に関する問題点がこれまでいかに解決されてきたのか、またはいかに解決されないまま問題が残されているのか分析・検討していきます。   |
| 国 際 金 融 論 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 教 授<br>小笠原 悟     | 米国のサブプライム・ローン問題がなぜ世界的な金融危機に発展したのでしょうか。過去の国際的金融危機の事例と比較しながら理論と実証面から分析します。特に、金融自由化と国際資本フローに焦点を充て、このメカニズムを検討します。   |
| 証 券 市 場 論 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 教 授<br>金 珍奎      | 基本的には、証券市場の諸問題を取りあげ、実証研究と理論研究を行います。また、修士論文のテーマに適した文献検索や研究方法も指導します。とくに、韓国の証券市場をはじめ、アジアの証券市場に関する現状分析や比較分析に重点を置きます。  |
| 国 際 関 係 論 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 教 授<br>高山 英男     | 第2次大戦後の国際関係理論の展開をソ連・ロシアとアメリカの外交政策の展開と対比させながら、理論と政策との相互関係を検討します。1年次で習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。   |
| E U 政 治 経 済 論 演 習<br>(I. II. III. IV) | 教 授<br>スティーブン デイ | Understanding European Integration<br>The goal of this seminar will be to explore both the theoretical and empirical dimensions associated with the process of European integration. It will look at developments from the formation of the European Coal and Steel Community (ECSC) in 1951 to the present day and in so doing it will introduce learners to the myriad of theoretical approaches (including neo-functionalism, liberal intergovernmentalism and constructivism) that have sought to explain this process. |
| 経 済 史 演 習<br>(I. II. III. IV)         | 教 授<br>市原 宏一     | 経済史研究の到達点と課題について総括的に概観するとともに、今日重要な位置を占めるに至った「世界システム」論ないしは「中心＝周辺」概念に依拠する研究動向を題材とした分析・検討を行います。  |
| 西 洋 経 済 史 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 教 授<br>城戸 照子     | 本演習では、都市＝農村関係を分析視角とした近年の西洋経済史の研究動向を概観し、その展開と深化を辿ります。その際、主たる対象領域は、今までヨーロッパの中では非定型的だと考えられてきた南欧封建社会とします。中心となる課題は、農村市場・流通・商人家系です。   |
| 経 済 統 計 論 演 習<br>(I. II. III. IV)     | 教 授<br>西村 善博     | 統計の作成過程、統計の利用方法のいずれかの分野について、修士論文の課題に結びつくような観点から研究指導を行います。具体的な内容については、受講生と相談の上、決定することにします。   |

| 演習名                         | 担当教員職・氏名     | 演習の内容  |
|-----------------------------|--------------|--|
| 日本経済史演習<br>(I. II. III. IV) | 未定           | 未定   |
| 開発経済学演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>木村 雄一 | 開発経済学（マイクロ実証：教育，健康，出産など家計の意思決定などが中心）とアジア・アフリカの経済発展と開発に関する現実問題，加えて修士論文のための実証研究の方法を扱います。 |

《政策科学コース》

| 演習名                          | 担当教員職・氏名     | 演習の内容  |
|------------------------------|--------------|--|
| マクロ経済学演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>宇野 真人 | 内生的経済成長理論の最近の展開を追うとともに，理論モデルの構築とその推定・検証により，「一国の経済成長に必要な要素は何か？」，「成長を促すような政策は何か？」を考えます。                          |
| ミクロ経済学演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>宇野 真人 | ミクロ経済学のテーマとしては企業行動論，消費者行動論，ゲーム論などです。独占や人的資本と技術進歩の関係などをミクロ経済学の考え方を基本にして考察していきます。                                |
| 数理経済学演習<br>(I. II. III. IV)  | 教授<br>下田 憲雄  | 線形代数，微積分を含む基礎解析の必要な部分の習得を図りつつ，一般的均衡理論の体系を研究します。古典的な需要理論，生産理論から競争均衡，パレート最適，厚生経済学の基本定理までを扱います。                   |
| 政治経済学演習<br>(I. II. III. IV)  | 未定           | 未定   |
| 経済政策論演習<br>(I. II. III. IV)  | 教授<br>高見 博之  | 経済政策論を考察するのに必要なミクロ経済学，マクロ経済学，経済数学の分析道具の修得を目的とします。<br>また，習得した理論と分析手法の展開を促し，修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。               |
| 社会政策論演習<br>(I. II. III. IV)  | 教授<br>石井まこと  | 賃金・労働時間，雇用，労使関係，社会保障・社会福祉にまたがる広範な領域を対象に，その歴史・現状を分析し，現代社会の課題を研究していきます。本演習では既存の良質の研究成果をもとに議論を発展させていくことを方針としています。 |
| 財政学演習<br>(I. II. III. IV)    | 准教授<br>小野 宏  | 本演習では計量経済学の手法を用いて，主に財政学・財政政策に関する諸問題について検討を行います。具体的なテーマとしては，財政赤字，公共投資などを考えています。                                 |
| 財政理論演習<br>(I. II. III. IV)   | 未定           | 未定   |
| 租税法演習<br>(I. II. III. IV)    | 教授<br>伊藤 隆雄  | 本演習では，修士論文を作成するために必要な租税法の専門的基礎知識を習得することを目指すとともに，修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。   |

## 地 域 経 営 政 策 専 攻

### 《地域政策コース》

| 演 習 名                       | 担当教員職・氏名     | 演 習 の 内 容  |
|-----------------------------|--------------|--|
| 地域発展論演習<br>(I. II. III. IV) | 教授<br>宮町 良広  | 地域発展論・経済地理学の分野の中で、受講生の研究テーマに即して指導を行います。地域産業構造の観点から、地域開発や国土構造をマクロに理解するための基礎的な理論を研究します。<br>また、習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。 |
| 情報社会論演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>豊島慎一郎 | 本演習では、情報とコミュニケーション、市民社会の関係について社会学の立場から理論的に検討します。毎回の基本文献に関する報告と討論によって理解を深め、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。                                     |
| 経済地理学演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>大呂 興平 | 産業立地や地域開発などに関する経済地理学の基礎的な理論をふまえた上で、地域経済の態様や国土構造を把握し、それが人々の生活とどう関わっているのかを実証的に分析する能力を身につけることを課題とします。                                   |
| 農村発展論演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>山浦 陽一 | 農業経済学、農村社会学、農村計画学等の分析手法を用いて、農山村の諸課題を総合的に研究し、政策への反映、地域での実践を目指します。①特定の地域での濃密なフィールドワーク、②地域での課題に対応した学際的、分野横断的な分析視角、③研究と実践の融合、がコンセプトです。   |
| 憲法演習<br>(I. II. III. IV)    | 准教授<br>青野 篤  | 本演習は、国家と個人・団体の法的諸関係を憲法学の見地から理論的に分析することをねらいとします。外国法を含め、関連する学説や判例の丹念な検討を通じて、修士論文の作成につなげていきます。  |
| 交通論演習<br>(I. II. III. IV)   | 准教授<br>大井 尚司 | 交通事業の経営、交通に係る地域問題、インフラ整備、観光、公益事業、物流などのテーマについて、経済学・経営学・交通計画学的な視点から、理論・実証(定量)的な分析を行えるよう、研究指導を行います。                                     |
| 地域経済学演習<br>(I. II. III. IV) | 准教授<br>川崎 晃央 | 未定   |

### 《マネジメント(MBA)コース》

| 演 習 名                         | 担当教員職・氏名    | 演 習 の 内 容  |
|-------------------------------|-------------|--|
| 人事システム論演習<br>(I. II. III. IV) | 未定          | 未定   |
| 経営行動科学演習<br>(I. II. III. IV)  | 未定          | 未定   |
| 企業論演習<br>(I. II. III. IV)     | 教授<br>河野 憲嗣 | 企業という存在に着目して、その本質は何か、あるいは現代社会における課題と可能性について、経営学の観点から考察を進めます。後半は受講生の修士論文テーマにそって研究指導を行います。 |

| 演 習 名                           | 担当教員職・氏名     | 演 習 の 内 容  |
|---------------------------------|--------------|--|
| 比較経営史演習<br>(I. II. III. IV)     | 教授<br>渡邊 博子  | 未定   |
| 経営管理論演習<br>(I. II. III. IV)     | 教授<br>藤原 直樹  | <p>本演習では、経営管理論ならびに経営経済学に関する基本的な文献を輪読していきます。学説史的アプローチにより、経営管理論に関する理論的な知識の習得をめざします。</p> <p>その上で、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。</p>   |
| 経営戦略論演習<br>(I. II. III. IV)     | 准教授<br>仲本 大輔 | <p>現代企業の経営戦略に関する諸問題を研究します。前半は、経営戦略論を中心とする経営学の代表的な文献を読み、基本的な理論フレームワークを習得します。そして、習得した視座をもとに事例の分析と考察を行います。</p> <p>後半は、受講者が選定した経営戦略論に関連する研究テーマに沿って研究指導を行い、修士論文の作成につなげていきます。</p>            |
| 企業ファイナンス論演習<br>(I. II. III. IV) | 教授<br>鶴崎 清貴  | <p>株式会社の財務問題すなわち資金調達と投資決定に関する諸問題を研究します。</p> <p>また、これら諸問題にかかわる資本市場の諸問題も同時に研究します。習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。</p>  |
| マーケティング論演習<br>(I. II. III. IV)  | 教授<br>松隈 久昭  | <p>現代企業のマーケティング行動を理論的に整理します。その後、事例研究を行い、マーケティングによる競争優位性の確立と維持を実証的に分析します。また、受講生が選択したマーケティング論に関する研究テーマについて、文献・資料の収集や整理など、修士論文作成に必要な指導を行います。</p>  |
| 国際経営論演習<br>(I. II. III. IV)     | 教授<br>宮下 清   | <p>本演習では、前半に多国籍企業論、国際比較経営、異文化マネジメントなどに関する代表的な文献を読み、国際経営の基本事項や方法論を習得します。</p> <p>後半においては、受講生の修士論文にそって研究指導を行います。</p>  |
| 経営情報論演習<br>(I. II. III. IV)     | 准教授<br>松岡 輝美 | <p>インターネットを活用したイントラネット（企業内情報システム）、エクストラネット（企業間情報システム）構築の方法論について、多くの事例を分析し、情報システムがいかに関業の組織改革を促し、新しいビジネスモデルやマネジメントの仕組みを作り出すかについて探究していきます。また、習得した理論と分析手法の展開を促し、修士論文の課題に結びつく研究指導を行います。</p> |
| 経営組織論演習<br>(I. II. III. IV)     | 教授<br>本谷 るり  | <p>本演習では、前半は経営組織論の基本的理論を習得し、企業の抱える現代的課題を明確にします。同時に分析手法についても学びます。後半は受講生の研究テーマに即して修士論文作成に向けた研究指導を行います。</p>   |

《会計・法務コース》

| 演 習 名  | 担当教員職・氏名       | 演 習 の 内 容   |
|--|----------------|---|
| 管 理 会 計 論 演 習<br>( I . II . III . IV )           | 教 授<br>大 崎 美 泉 | 基礎的な文献によって管理会計の基礎を習得するとともに、経営戦略、ABC/ABM、原価企画、IT戦略、アウトソーシングといった現代管理会計の論点について検討していきます。これらの学習で得た理論と分析手法をもとに、受講生と相談の上で修士論文のテーマと方向性を決定し、修士論文完成のための研究指導を行います。 |
| 株 式 会 社 会 計 論 演 習<br>( I . II . III . IV )       | 未 定            | 未 定   |
| 会 計 制 度 論 演 習<br>( I . II . III . IV )           | 准教授<br>中 村 美 保 | どのような会計制度を設計するかにより、企業経営者・利害関係者・投資家の行動は変化し、国家全体としての経済的帰結も変化してきます。本演習では、我が国のみならず、各国の会計制度を対象として、財務会計の制度設計のあり方を議論していくことをねらいとしています。あわせて修士論文執筆のための指導をしていきます。  |
| 労 働 関 係 法 演 習<br>( I . II . III . IV )           | 未 定            | 未 定   |
| コ ス ト マ ネ ジ メ ン ト 論 演 習<br>( I . II . III . IV ) | 准教授<br>加 藤 典 生 | 現代企業で扱われるコストマネジメントの理論・手法について理解を深め習得するとともに、企業戦略、従業員のモチベーション、顧客心理などにも着目しながら、その有用性を検討していきます。これらの学習をもとに受講生と相談の上で修士論文のテーマを選定し、研究指導を行います。                     |



# 2017 年度秋季入学

## 大分大学大学院経済学研究科博士前期課程入学志願書

|                        |   |           |           |               |
|------------------------|---|-----------|-----------|---------------|
| 志願専攻                   | 経済社会政策専攻<br>地域経営政策専攻<br>(いずれかを○で囲んでください。) |           | 受験番号      | (記入しないでください。) |
| 出願区分                   | 外国人留学生入試-指定校推薦                            | 研究科目 (演習) |           |               |
| 氏名                     | フリガナ                                      | 生年月日      | 年 月 日生    |               |
|                        | ピンイン                                      |           |           |               |
| 性別                     | 男 ・ 女<br>(いずれかを○で囲んでください。)                |           |           |               |
| 出身大学                   | 大学  | 学部        | 学科        |               |
|                        |   | 年 月       | 卒業・卒業見込   |               |
| 国籍<br>(中国以外の場合)        |   |           |           |               |
| 現住所                    | 〒.....                                    |           | ☎.....    |               |
| E-mail アドレス            |   |           |           |               |
| 日本国内の<br>連絡先<br>(ある場合) | 〒.....                                    |           | ☎.....    |               |
|                        | (氏名)                                      |           | (あなたとの関係) |               |

### 履 歴 事 項

| 区分  | 年 月 | 事 項 |
|-----|-----|-----|
| 学 歴 | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
| 職 歴 | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |
|     | ・   |     |

#### 記入上の注意

- 志願書は黒の万年筆又はボールペンを用いて、**必ず日本語で記入してください。**
- 受験番号欄以外はすべて記入してください。
- 「研究科目 (演習)」については、7ページ以降の表中「演習名」から1つ選択して記入してください。
- 電話番号は、日本からでも連絡可能な番号を記入してください。
- 履歴事項は小学校入学から記入し、大学は学部学科名まで記入してください。



## 受験票（外国人留学生入試-指定校推薦）（2017 年度秋季入学）

|      |                   |
|------|-------------------|
| 受験番号 | (記入しないでください。)     |
| 氏名   |                   |
| 志願専攻 | 経済社会政策専攻 地域経営政策専攻 |

|   |
|---|
| 写 真<br>(4.5cm×3.5cm)<br>上半身正面向きで<br>本人であると確認<br>できるものを貼付<br>してください。 |
|---|

\* 志願専攻は志願する専攻を○で囲んでください。

\* 出願時には、受験票（大学控）も提出してください。

## 受験票（大学控）（2017 年度秋季入学）

|      |                   |
|------|-------------------|
| 受験番号 | (記入しないでください。)     |
| 氏名   |                   |
| 志願専攻 | 経済社会政策専攻 地域経営政策専攻 |

|   |
|---|
| 写 真<br>(4.5cm×3.5cm)<br>上半身正面向きで<br>本人であると確認<br>できるものを貼付<br>してください。 |
|---|

\* 志願専攻は志願する専攻を○で囲んでください。

|      |               |
|------|---------------|
| 受験番号 | (記入しないでください。) |
|------|---------------|

|   |
|---|
| 入学検定料払込証明書（大学提出用）貼付欄<br><br>「外国送金依頼書の写し」又は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を貼ってください。 |
|---|













大分大学学生支援部入試課

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

TEL 097-554-7016

FAX 097-554-7472

E-mail [nyucenter@oita-u.ac.jp](mailto:nyucenter@oita-u.ac.jp)

URL <http://www.oita-u.ac.jp>

Entrance Examination Division, OITA UNIVERSITY

700 DANNOHARU, OITA 870-1192, JAPAN

TEL +81-(0)97-554-7016

FAX +81-(0)97-554-7472